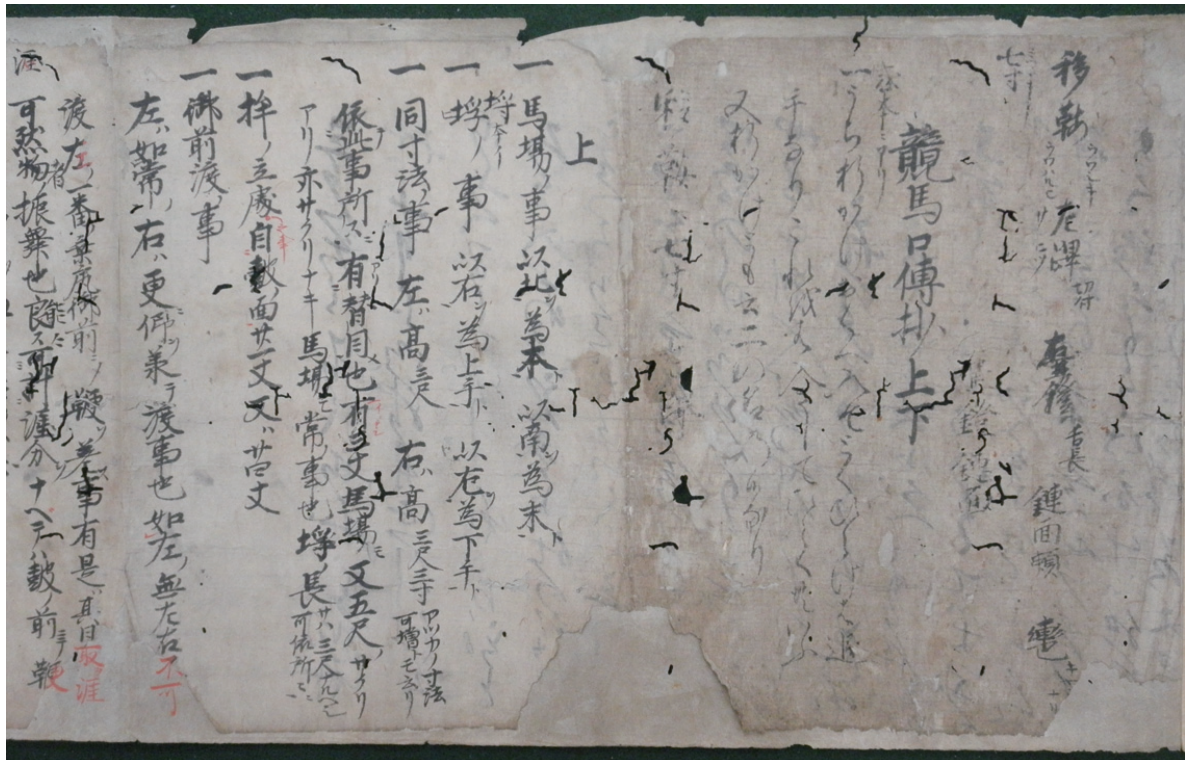




総合資料館だより

2012. 10. 1 No. 173

くらべうまく でんしょう 「競馬口伝抄」



この『競馬口伝抄』は、日本の古式競馬の作法に関する秘伝を記した書物で、上賀茂神社の社家、中大路家に伝えられた室町時代の写本です。冒頭から「馬場ノ事以北ヲ為本ト、以南ヲ為末ト」とあり、馬が走る馬場の「本」（スタート）と「末」（ゴール）をどう決めるかということから書き始められています。またその内容は、競馬の際に乗尻（のりじり＝騎手）が着る装束や、鞭の差し方などにまで及ぶことから、上賀茂神社の競馬会神事での作法の勉強に用いたのではないかと推定されます。

このような競馬は、現在、上賀茂神社で5月5日に開催される競馬会神事と春日大社参道で12月17日の春日若宮御祭の一環で行われる春日競馬くらいしか残っていません。

この資料は、本年10月20日から開催する企画展、世界遺産条約40周年記念「京都の世界遺産」に出品する予定です。

目次	「競馬口伝抄」	1
	世界遺産条約40周年記念「京都の世界遺産」	2
	文献課の窓から <資料紹介> 「住民生活に光をそそぐ交付金」により収集した京都関係資料	4
	「国立公文書館所蔵資料展 公文書の世界 in 京都」開催のお知らせ	6
	歴史資料課の窓から 町の姿を伝えるもの -町絵図・町並絵巻-	7
	平成24年度 京都学へのいざない講座 京都力を探る	9
	最近の収集資料から (平成24年6月～8月)	10
	平成24年度「古文書入門教室」へのお誘い	12
	宇治茶「本づくりプロジェクト」のご案内	13
	友の会事務局から、古文書相談のご案内、日誌、利用案内	14

総合資料館企画展

世界遺産条約40周年記念「京都の世界遺産」

◆会期 平成24年10月20日（土）～11月18日（日） 休館日：11月3日（土・祝）、11月14日（水）
時間：午前9時～午後4時30分

◆会場 京都府立総合資料館 2階展示室（入場無料）

■講演会 ※事前申込み不要

日時：10月30日（火） 午後2時～午後4時

演題：「世界遺産をつくった大工棟梁 中井大和守の仕事」

講師：谷 直樹氏（大阪市立大学大学院教授）

■列品解説

日時：10月25日（木）、11月8日（木） いずれも午後2時～ 2階展示会場にて

会場：京都府立総合資料館 4階講堂

今年、世界遺産条約が採択されて40周年、日本が締約国となって20周年に当たります。これを祝し、世界各地でさまざまな行事が開催されていて、京都でも11月6日から8日まで国立京都国際会館で世界遺産条約採択40周年記念最終会合が開かれます。

今回の企画展では、世界遺産をテーマに館蔵品の内から世界遺産ゆかりの土地の古写真・古絵図・貴重書・古文書類を展示します。京都府域では1994年に17の社寺と城が「古都京都の文化財」（京都市、宇治市、大津市）として世界遺産に選ばれています。また、「天橋立」「日本茶・宇治茶」を世界遺産にしようとする京都府や近隣市町、地元住民による取り組みもあります。今回の展示ではそれらを紹介することにより、世界遺産の意義を再認識する場となることを願っています。

第1部 日本の世界遺産

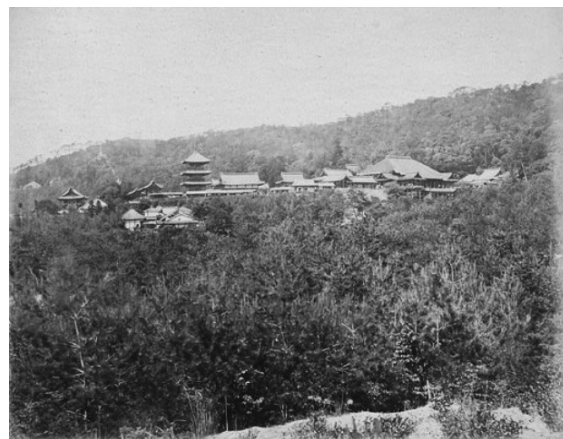
世界遺産は、世界のすべての人々にとって「顕著な普遍的価値」を有する文化遺産や自然遺産、その複合遺産をさします。それは、過去から引き継がれてきた人類の宝物であり、未来に引き継いでいくべきものとされています。第一部では、世界遺産について説明するとともに、日本国内の世界遺産に関する図書、その所縁の地の吉田初三郎鳥瞰図などを展示します。

第2部 京都の世界遺産

京都にある世界遺産としては、「古都京都の文化財」として、賀茂別雷神社、賀茂御祖神社、教王護国寺、清水寺、延暦寺、醍醐寺、仁和寺、平等院鳳凰堂、宇治上神社、高山寺、西芳寺、



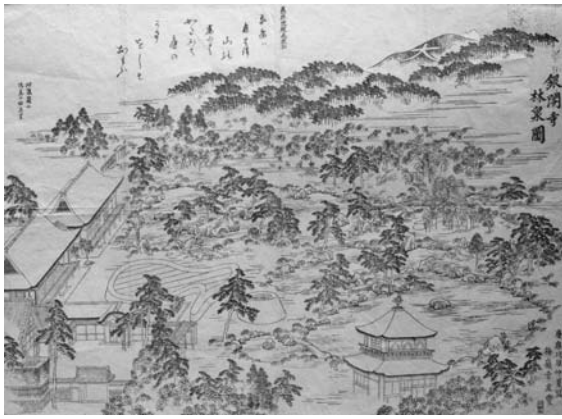
▲黄華山 花洛一覽図（江戸時代後期）



▲清水伽藍一望（『撮影鑑』、明治初年）



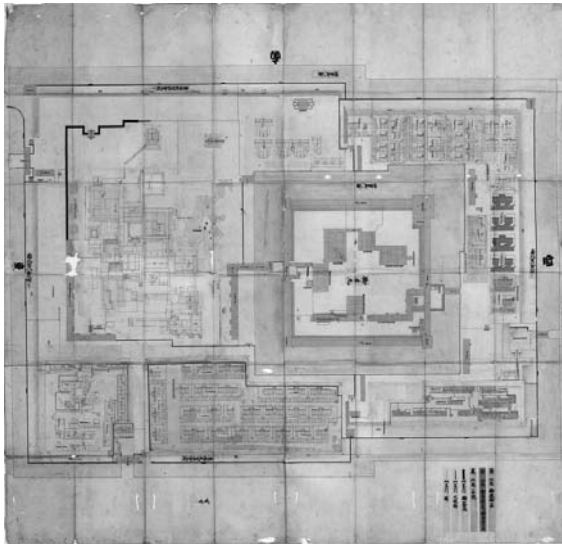
▲平等院 四百年前社寺建物取調書（明治15年）



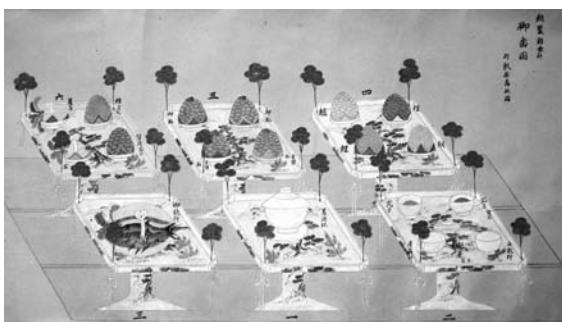
▲銀閣寺林泉図（慶応年間）



▲追遠帖（明治43年）



▲二条御城内御指図（控）（江戸時代中期）



▲高橋大隅両家秘伝供御式目（江戸時代）

天龍寺、鹿苑寺、慈照寺、龍安寺、西本願寺、二条城の17社寺城が、また2009年には無形文化遺産として「京都祇園祭の山鉾行事」が登録されています。

「古都京都の文化財」の17社寺城は、国宝建造物・特別名勝等を有するこの地域の代表的な文化財です。当館が所蔵する資料の中には、これらの社寺と城を撮影した黒川翠山の写真、明治初年に撮影された『撮影鑑』所収の古写真をはじめ、古絵図、古典籍、図書などが数多くあり、これらを展示します。

17社寺と城には平安時代からの歴史を伝えるところも多々ありますが、戦乱等により焼失したのも少なくありません。そして、その多くが江戸時代に再建・復興されています。その時に活躍したのが、京都大工頭をつとめた中井大和守で、世界遺産をつくった大工棟梁とも呼ばれています。当館の中井家文書には、二条城の指図や材木帳などの古文書があり、それらを陳列します。

これらの社寺と城は、近代以降には国宝の建造物に指定され、たびたび修理されてきました。当館の行政文書（重文）のなかにあるその修理記録、当館所蔵の国宝「東寺百合文書」が今まで残されるきっかけとなった桐箱も併せて並べます。

第3部 京都に新たな世界遺産を

京都府では、天橋立、日本茶・宇治茶を世界遺産に、和食を無形文化遺産にしようと取り組んでいます。ここでは、古絵図や貴重書などにより、それらの遺産の一端を紹介します。

第2会場

展示室の隣にある会議室では、新たな登録に向けた活動を紹介します。

より多くの方々のご来場をお待ちしています。



▲「龍安寺 庭園」（黒川翠山撮影、20世紀前半）

<資料紹介>

「住民生活に光をそそぐ交付金」により収集した京都関係資料

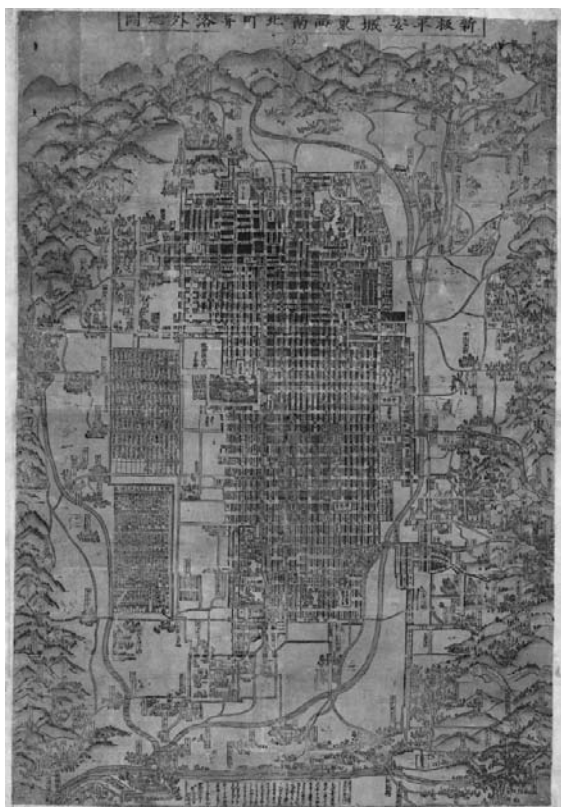
京都府立総合資料館では、地域活性化交付金（住民生活に光をそそぐ交付金）を活用し、平成22～23年度に567冊(点)の資料を購入・所蔵することができました。

その中で、京都関係として収集した資料について、一部ではありますが、以下にご紹介したいと思います。

『新板平安城東西南北町并洛外之圖』（寛文2(1662)年刊)

最初期に出版された京都図は洛中のみが描かれていましたが、その後、洛外も描かれるようになります。『新板平安城東西南北町并洛外之圖』は、三方の山地とともに洛外が豊かに表現されている、京都の地図史において画期的な資料です。17世紀中葉の京都のすがたや近世的な観光の成立を検討する上でもきわめて重要な資料といえます。

版元の伏見屋は、出版地図の黎明期を牽引・代表した版元のひとつで、日本の出版メディア史においても注目すべき資料といえます。



『新板平安城并洛外之圖』（延宝6(1678)年刊)

前述の『新板平安城東西南北町并洛外之圖』（寛文2(1662)年刊）と、以前から所蔵する『京絵図』（貞享3(1686)年刊）の中間の時代の京都の出版地図（手描きでないもの）です。17世紀末以降に活躍した版元である林吉永が刊行した最初の京都図と考えられます。

『京大絵図』（江戸時代中期)

江戸時代中期頃のものとは推測できる手書きの彩色絵図です。御朱印寺社が色分けされており、また有名寺院の境内が詳細に描かれていることなど、さまざまな情報が描き込まれています。

『丹後與謝海天橋立之図』（江戸時代中期)

日本三景として有名な天橋立の案内記です。松並木の続く橋立の図に続いて、「丹後國與佐海名勝略記」として名所・旧跡が紹介されています。



『賀茂川筋、桂川筋、宇治川筋、木津川筋共絵図』（江戸時代中期頃)

賀茂川、桂川、宇治川、木津川筋という山城国の水系を俯瞰した絵図です。特に賀茂川筋については周辺の修復場所等の書き込みも多く、当時の河川管理の状況をうかがい知ることができます。

『木津川上流より淀川河口まで川筋絵図』（江戸時代中期)

木津川上流の笠置を起点として淀川河口までを描いた絵図です。周辺の村々や木津川に流入する河川名等も記されています。

『御蔵入城州愛宕郡四條川原西組東組御蔵入同郡五条川原絵図』（江戸時代後期写）

二条から五条までの、鴨川沿岸の蔵入地（幕府の直轄地）の絵図です。区画毎の地子の額が記載され、妙法院領等の寺院領の記載もあります。五条のあたりに鍼灸医の御菌意斎が拝領した御土居地が描かれていることから、1700年代の後半から1800年代前半にかけて製作されたものではないかと推定できます。

『山城名所記 12巻』（寛文4(1664)年刊)

『山城名所記』とは『洛陽名所集』（万治元(1658)年刊）の別書名で、寛文4(1664)年に刊行された『洛陽名所集』には『山城名所記』の題箋が付されています。京都の地誌としては『京童』に次いで2番目に古いものです。

『山城四季物語 6巻』（延宝2(1674)年刊)

山城国における民間の年中行事や寺社の祭礼約60件を四季ごとに紹介したものです。巻六には追加として「山城名所方角之和歌」25首が収められています。

『出来齋京土産 7巻』（延宝6(1678)年刊)

京都の名所記です。主人公出来齋房が京都の社寺や名所を巡り狂歌を詠みながら、名物や土産を紹介しています。



『山城名所紀行 15巻』（正徳4(1714)年刊)

本書は『京師巡覧集』（延宝7(1679)年刊）の改題・後刷にあたるものです。京都の山川・村里・名所等を紀行風に紹介しています。

『京羽二重織留 6巻』（元禄2(1689)年刊)

『京羽二重織留』は、趣味と実益を兼ねた代表的な京都の案内書である『京羽二重』（貞享2(1685)年刊）に収録されなかった事項を追加した

増補版です。当館では『京羽二重』とその増補版である『京羽二重大全』、およびこの『京羽二重織留』の増補版として刊行された『新益京羽二重織留大全』（宝暦4(1754)年刊）の原本を所蔵しています。



『[大阪より伏見まで淀川航行計画図] 其1-其3』（明治7(1874)年頃写）

大阪から伏見まで淀川に船を航行させるための計画図です。オランダ語で記されていて、測量された数字も記載されています。琵琶湖疏水建設に尽力した土木工学者、田辺朔郎の旧蔵資料で、淀川の改修にあたったオランダ人技師（デレーケ等）が作成したものではないかと推察できる貴重な資料です。



『工商技術都の魁』（明治16(1883)年刊)

本書は、明治初期の京都の商工業者の便覧です。編者の石田有年と出版者である石田才次郎は兄弟で、二人とも銅版画家として活躍しました。本書も精緻な銅版印刷で印刷されています。



光交付金による購入京都資料の主なもの

資料名	発行年	請求記号
新板平安城東西南北町并洛外之圖	寛文2(1662)	貴重書
新板平安城并洛外之圖	延宝6(1678)	貴重書
[京大絵図]	[江戸時代中期]	K0特-291.62-Ky5
丹後與謝海天橋立之図	[江戸時代中期]	K42-1特-291.62-Ka21
賀茂川筋・桂川筋・宇治川筋・木津川筋共絵図	[江戸時代中期頃]	K1.7特-291.62-Ka41
[木津川上流より淀川河口まで川筋絵図]	[江戸時代中期]	K2.6特-291.62-Ki99
御蔵入城州愛宕郡四條川原西組東組御蔵入同郡五条川原絵図	[江戸時代後期]	K1特-291.62-057
洛医人名録	文久1(1861)	K1特-490.35-N37
懷寶銅鐫花洛往古細図・大内裏御図	[18-]	K1特-291.62-Ka25
[大阪より伏見まで淀川航行計画図] 其1-其3	[明治7(1874)]	K2.5特-517.1-073
明治七年改刻京都絵圖 附り上下京区分名録	明治7(1874)	K1特-291.62-Ky6
京都細繪圖	明治12(1879)	K1特-291.62-W23
帝國京都市街名所新圖	明治26(1893)	K1特-291.62-Ka83
淀川兩岸一覽 4巻	万延1(1860)	K2.5特-291.62-A33
山城名所記 12巻	寛文4(1664)	貴重書
山城四季物語 6巻	延宝2(1674)	貴重書
出来齋京土産 7巻	延宝6(1678)	貴重書
山城名所紀行 15巻	正徳4(1714)	貴重書
京羽二重織留 6巻	元禄2(1689)	K1和-291.62-Ky3
工商技術都の魁 上・下	明治16(1883)	K1特-602.16-I72
[和菓子図案集] 141枚	[192-]	K1特-588.36-W14
新年菓帖 勅題干支 巻の5ほか	明治38-昭和4(1905-1929)	K1和-588.36-Sh64
[京都市西洞院川改良工事写真]	[明治36-37(1903-1904)]	K1特-517.21-ky6
電話番號簿 附嵯峨特設電話番號簿 明治38年6月改	明治38(1905)	K1-694.65-Ky6
京都電話番號簿 大正10年8月改	大正10(1921)	K1-694.65-Ky6

※ここに紹介した古絵図・地図等には、學術調査・研究目的のみの利用とさせていただいている資料が含まれています。

(文献課 京都資料担当)

「国立公文書館所蔵資料展 公文書の世界 in 京都」 開催のお知らせ

本年12月に、国立公文書館が所蔵する公文書を展示する展覧会を国立公文書館と合同で開催します。

日本国憲法を公布することに天皇が署名された原本のレプリカをはじめ、阪神・淡路大震災被害写真綴、京都裁判所を京都府と改称することを記した書類、新島襄関係資料など、貴重な資料を展示します。

全国で初めての取組でもありますので、是非、この機会に御観覧ください。

- タイトル 「国立公文書館所蔵資料展 公文書の世界 in 京都」
- 会場 京都府立総合資料館 2階 展示室
- 会期 平成24年12月8日(土曜)から23日(日曜・祝)まで
ただし、12月12日(水曜)は、休館
- 時間 午前9時から午後4時30分
- 入場料 無料
- 主催 独立行政法人 国立公文書館、京都府立総合資料館

なお、今後、展示資料などの詳細が決まっていきましたら、随時、ホームページなどでご案内いたします。

町の姿を伝えるもの —町絵図・町並絵巻—

当館で公開している行政文書「京都市明細図」は、昭和初期1927年頃に作成された原図の上に、道路拡幅や土地改良事業等により町並の変更があった所について、戦後1951年頃まで加筆・修正がおこなわれたものです。昭和初期の都市改造、戦中期の建物疎開、戦後の占領期の状況等、近現代の京都の町の変化を重層的に知ることができる資料です。

では、江戸時代の京都の町の姿を伝えてくれる資料としてはどのようなものがあるでしょうか。

その一つに、明治の初めに作られた「上京三一番組絵図」という町絵図があります。上京三一番組というのは明治時代の初めに地域的なまとまりを持つ町々を編成した番組制の時の呼称で、およそ北は御霊岡子、南は三条通、東は鴨川、西は寺町通にわたる範囲、後の銅駝学区の町々です⁽¹⁾。町絵図はこれらの町毎に、通り、家の表口（間口）、裏行（奥行）、軒役数⁽²⁾、持

主の屋号と名前を描いたもので、明治2～3（1869～70）年頃に町組と軒役の改正に関連して作成されたと考えられます⁽³⁾。この町絵図には、通りに髪結床・地藏堂・番部屋（木戸門番の控場所）等が見られ、まだ江戸時代の趣が残っています。（写真1）

しかし、この上に重ねて貼られていた町絵図には、持ち主の名前には屋号ではなく苗字が付けれられ、髪結床も番部屋もなくなっています。（写真2）こちらの町絵図は壬申地券交付のため明治6（1873）年頃に作成されたものと思われる⁽⁴⁾。

町の現況を描いた新旧2枚の町絵図を貼り合わせてくれたお陰で、たった数年のうちに町の景観や制度が変わったことが分かり、とても興味深い資料となっています。特に、三一番組の町々は江戸時代には山口（長州）藩邸、角倉家の屋敷、近衛家の蔵、高瀬川の舟入、生洲等があり、現在は繁華街の一画となっているところです。今昔それぞれの風景を思い浮かべながら見ているだけでも楽しいものです。

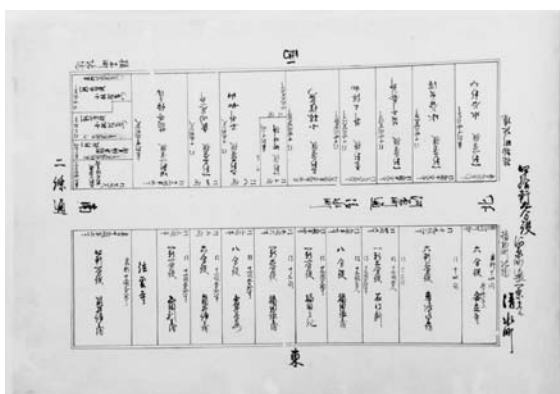
しかし残念なことに、すべての町の町絵図が残っているわけではありません。番組の町がまとまって残っているのは、当館にはこの「上京三一番組」のものしかありません⁽⁵⁾。ほかに町文書等の中にこのような町絵図が残っている場合がありますが、ごく僅かです。（表「町絵図一覧」参照）

このような町絵図は明治初期に京都府の指示によって作成されたものなので、もとはすべての町が作成し所蔵していた筈です。しかし、約150年近く過ぎるうちに、災害・戦争・世代交代等で次第に失われていったと思われます。

さて、京都の町の姿ということで忘れてはならないのが「三条油小路町町並絵巻」（近江屋吉左衛門家文書 写真3）です。これは文政3（1820）年に三条通から六角通までの油小路通の町並とそこを行き交う人々の姿を描いたものです。通りに整然と立ち並んだ家には職業と屋号、



▲写真1



▲写真2

人名と軒役が記されています。瓦葺きの屋根や格子・虫籠窓、意匠を凝らした暖簾を掲げる家々、通りには町中会所・地藏堂・井戸・木戸門・灯笼等が配置され、京都独特の風情のある町並を楽しむことができます。

ところで、「京都市明細図」の三条油小路町のところを見ると「もやし」と不思議な記載があります。「もやし」とは「糶こうじもやし」のことで、味噌などを作るときに必要な糶の原料となるものことです。この絵図を作った近江屋吉左衛門家は日本でも屈指の「糶もやし」の製造・販売の商家でした。「もやし」と記されていたので、近江屋が江戸時代からそのまま商売を続けていたことがわかります。他にも染物屋（染師）や金物屋（鋳物師）など絵巻と重なる家は何軒か確認できます。戦後1950年頃まで、京都の町並や昔ながらの商売が少しずつ姿を変えながらも残っていたようです。

町絵図・町並絵巻と「京都市明細図」、これらの資料を見比べることで、京都の町の変化を長い期間追う事ができます。

いずれの資料も文書閲覧室で閲覧できますので、ご利用下さい。また、「三条油小路町町並絵巻」は当館ホームページ「京の記憶ライブラリ 江戸時代の京都の風景」に掲載しています。

<http://kyoto-shiryokan.jp/kyoto-memory/index.php>

(歴史資料課 辻 真澄)

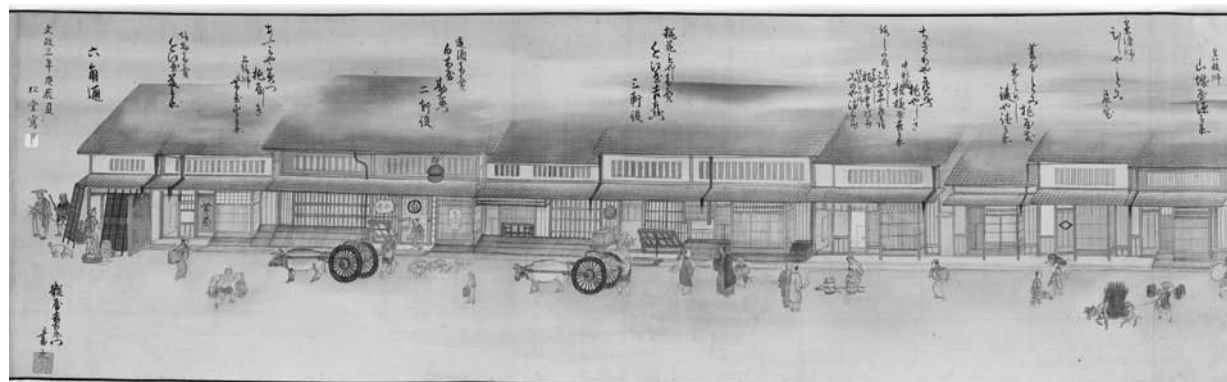
(1) 各町名は「町絵図一覧」の「上京第三番組絵図」のところを参照。

(2) 軒役とは江戸時代の諸役・諸税の負担の割合の基準のこと。京都の町では地子（地税）は免除されていたが、そのかわり町奉行から年頭御礼入用・町代役銀・竹刈り人足（御土居に植生している竹）等の費用が割り付けられた。家持町人だけにかかるもので、壱軒役は家の間口が約三間前後（二間半・四間のこともあり厳密ではない）の家に対するもの。間口を基準にするもので奥行きには関係ない。

(3) 明治元年11月4日に出された町絵図作成の触によって作成されたと考えられる。町組とは町々が互いに支え合うために地域的に連合した自治組織。京都町奉行所はこれを利用して町を治めていたが、明治になってからは京都府が町組を再編・改正して番組とした。番組制が取られたのは明治5年まで。

(4) 壬申地券の交付はその後の地租改正事業の準備作業といえるもの。町では番組の町絵図をもとに実測して変更箇所等を訂正して京都府へ提出したと考えられる。

(5) ほかに、京都市歴史資料館が「上京二六番組町絵図」、立命館大学人文科学研究所が「下京十五番組町絵図」を所蔵している。



▲写真3

町絵図一覧

現行政区	町名		資料名		
上京区	西五辻北町	千本通寺之内上ル	寄古009	西五辻北町町会文書	
	馬喰町	御前通今小路上ル下ル	館古283	上京三番組馬喰町絵図	
	塔之壇毘沙門北半町	今出川通上ル四丁目西入	寄古018	大國家文書	
	元北小路町	今出川通大宮西入	館古335	元北小路町文書	
	近衛町	油小路通出水下ル	館古403	小林万兵衛家文書	
中京区	大恩寺町	二条通室町西入	館古551	大恩寺町内会旧蔵文書	
	上大坂町・梅木町・橋柳町・東生洲町・指物町・西革堂町・東榎木町・西生洲町・大文字町・末丸町・角倉町・鉢田町・一之船入町・上樵木町・清水町・常盤木町・下丸屋町・藤木町・樋之口町・榎木町・恵美須町・行願寺門前町・上車屋町・薬町・塗師屋町	北は御霊囀子、南は三条通、東は鴨川、西は寺町通の範囲	館古086	上京第三一組絵図 (上京第三一番組絵図)	
	下丸屋町	河原町通二条下ル二丁目	館古123	宅間家文書	
	福長町	富小路通姉小路下ル	館古462	福長町文書	
	衣棚町	三条通室町西入	館古466	千吉西村家文書	
			館古531	三条衣棚町文書	
	三条油小路町	油小路通三条下ル	館古399	近江屋吉左衛門家文書	*
	占出山町	錦小路通烏丸西入	館古531	三条衣棚町文書	
下京区	真町	四条通小橋西入	館古420	真町文書・甲	**
	四条町	新町通四条下ル	寄古010	四条町文書	
	西門前町	大宮通松原下ル東側	館古036	西門前町文書	
	高砂町	諏訪町通五条上ル	館古130	高砂町文書・甲	
左京区	駒薬師町	新柳馬場通仁王門下ル	館古594	藤木家文書	
東山区	袋町	大黒町通五条下ル一丁目	館古486	袋町文書	

* は町並絵巻 ** は町内の家1戸ごとの間取りの図

参加無料

京都府立総合資料館・京都府立大学地域連携センター主催

平成24年度 京都学へのいぎない講座 京都力を探る

新総合資料館の開館と国際京都学センターの発足に向け、今年度から3年間、本講座を開催し、「京都を1200年間持続させた力<京都力>とは何か」を探っていきます。今年度のテーマは「こころ」です。

第1回

日時：10月2日（火）午後2時～4時
 会場：京都府立大学 大学会館
 平安京の仏教
 ー最澄・空海とその後継者たち
 講師：国際日本文化研究センター
 教授 末木 文美士 氏

第2回

日時：10月23日（火）午後2時～4時
 会場：京都府立大学 大学会館
 中世宗教と<こころ>
 ー正直・慈悲・清浄ー
 講師：京都府立大学文学部歴史学科
 准教授 上島 享 氏

第3回

日時：11月26日（月）午後2時～4時
 会場：下鴨神社（定員100名・要申込）
 下鴨神社と鴨長明（講演及び見学会）
 講師：賀茂御祖神社
 禰宜 嵯峨井 建 氏

第4回

日時：12月21日（金）午後2時～4時
 会場：京都府立大学 大学会館
 憂き世に迷う心 ー鴨長明と『方丈記』
 講師：京都産業大学文化学部国際文化学科
 教授 小林 一彦 氏

<第3回の申込>往復はがきに住所、氏名、連絡先の電話番号、「11月26日下鴨神社見学会希望」と明記の上、総合資料館庶務課まで郵送ください。なお、返信用はがきの表面に住所、氏名をご記入ください。

*受付期間 平成24年10月3日（水）～10月31日（水）消印有効

*応募者多数の場合は抽選により受講者を決定し、参加の可否を往復はがきの返信で通知します。

[送付先] 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4 京都府立総合資料館 庶務課



最近の収集資料から（平成24年6月～8月）



◆図書資料

〈京都〉

平安京の災害史 都市の危機と再生 北村優季
著 吉川弘文館 2012 6,198p (歴史文化ライ
ブラリー 345)

京都府中世城館跡調査報告書 第1冊 丹後編
京都府教育庁指導部文化財保護課編 京都府教
育委員会 2012 439p 図版2枚

光台のあゆみ 光台まちびらき二十周年記念
「光台のあゆみ」編集委員会編 光台七丁目自
治会 2012 80p 寄贈

オールドかめおか写真展 第51回企画展 亀岡
市文化資料館編刊 2012 48p 寄贈

地下鉄バリアフリーマップえきペディア京都
烏丸線東西線全32駅 らくらくマップ 山本英
嗣・垣内俊哉・岡田光生編著 アイ・コラボレー
ション 2012 111p

引き揚げのまち舞鶴 舞鶴・引揚語りの会[編]刊
[2012] 1冊 寄贈

左京のくらし 京都洛北の近代 中村治著 京
都市左京区役所区民部総務課 2012 82p

舞鶴市上漆原・由良ヶ岳の動植物 青葉山レイ
ンジャー隊[編]刊 2011 68p 図版6p (地域動
植物リスト 第1号) 寄贈

地図で読む京都・岡崎年代史 京都岡崎魅力づ
くり推進協議会編刊 小林丈広監修 2012 32p

京の左官親方が語る楽しき土壁 佐藤嘉一郎著
矢ヶ崎善太郎聞き手 学芸出版社 2012 221p

マイファーム荒地からの挑戦 農と人をつなぐ
ビジネスで社会を変える 西辻一真著 学芸出
版社 2012 190p

伝統産業から文化ビジネスへ 「伝統産業グ
ローバル革新塾」の5年間 村山裕三著 マリ
ア書房 2012 78p

京都の文化と市政 守り、育て、創るための取
組 京都市文化政策史研究会編著 山代印刷株
式会社出版部 2012 291p 寄贈

明治の兄妹 新島八重と山本覚馬 早乙女貢著
新人物往来社 2012 127p

〈人文〉

出版年鑑 2012-1,2 出版年鑑編集部編 出版
ニュース社 2012 2冊

大東急記念文庫善本叢刊 中古中世篇 別巻2
[第1巻] 築島裕[ほか]編修委員 大東急記念文
庫 汲古書院(発売) 2012 510p

中世日本漢学の基礎研究 韻類編 住吉朋彦著
汲古書院 2012 6,677,64p

国立民族学博物館展示ガイド 国立民族学博物
館編刊 2012 1冊 寄贈

阪神・淡路大震災における住まいの再建 論説
と資料 阪神・淡路大震災記念人と防災未来セ
ンター資料室編刊 2012 3,474p 図版8枚
(阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター資
料室震災資料集 Vol.1) 寄贈

室町時代の陰陽道と寺院社会 木村純子著 勉
誠出版 2012 4,671,17p 寄贈

神社のはじまり 社寺縁起・由緒とゆかりの宝
物 熱田神宮文化部文化課編 熱田神宮宮庁
2012趣旨 104p 寄贈

末永雅雄 末永考古学の軌跡 奈良県立橿原考
古学研究所編 奈良県立橿原考古学研究所附属
博物館 2012 36p 寄贈

中世日本の紙 アーカイブズ学としての料紙研究 全2巻 上島有 著 日本史史料研究会企画部 2011 (日本史史料研究会研究叢書) 寄贈

三内丸山遺跡特別史跡指定10周年記念誌 青森県教育庁文化財保護課編 青森県教育委員会 2011 78p 寄贈

戦国遺文 瀬戸内水軍編 土井聡朋・村井祐樹編 東京堂出版 2012 7,472p

近世後期の奥蝦夷地史と日露関係 川上淳著 北海道出版企画センター 2011 487p

近世琵琶湖水運の研究 杉江進著 思文閣出版 2011 6,442,16p

王朝文化の華 陽明文庫名宝展 京都国立博物館編 NHK 2012 282,12p

大織冠絵巻 恋田知子 釈文・解説 勉誠出版 2010 105p

俵屋宗達 金銀の<かざり>の系譜 玉蟲敏子著 東京大学出版会 2012 12,406,22p

アンフォルメルとは何か? 20世紀フランス絵画の挑戦 石橋財団ブリヂストン美術館編刊 2011 191p 寄贈

東北 田附勝著 リトルモア 2011 1冊

現代デザイン事典 2012年版 勝井三雄[ほか]監修 平凡社 2012 12,290p

柳宗悦展 暮らしへの眼差し 日本民藝館監修 NHKプロモーション 2011 189p 寄贈

上方歌舞伎と浮世絵 北川博子著 清文堂出版 2011 2,428p

くらべ馬展 近代競馬150周年記念 馬事文化財団馬の博物館編集 馬事文化財団 2012 71p

〈官庁〉

海外在留法人数調査統計 平成23年版 外務省領事局政策課編 日経印刷 全国官報販売協同組合(発売) 2012 385p

国勢調査報告 平成22年第1,2巻 総務省統計局編刊 2012 14冊

高齢者の居住状態の将来推計 国立社会保障・人口問題研究所編刊 2012 311p 寄贈

水害統計 平成22年版 国土交通省水管理・国土保全局河川計画課編刊 2012 462p 寄贈

港湾統計〈年報〉 平成22年 国土交通省総合政策局情報政策本部情報政策課編刊 [2012] 921p 寄贈

宮津警察のあゆみ 平成24年版 宮津警察署・宮津防犯協会・宮津交通安全協会[編]刊 2012 19p

第6次京都府高齢者健康福祉計画 京都府[編]刊 2012 157p

京都府循環型社会形成計画 第2期 京都府[編]刊 2012 34p

高度情報化推進のための京都市行動計画 情報通信技術(ICT)京都 2012版 京都市総合企画局情報化推進室[編]刊 2012 118p 寄贈

京都市長選挙結果調 平成24年2月5日執行 京都市選挙管理委員会編刊 2012 77p 寄贈

乙訓の統計 平成23年版 向日市・長岡京市・大山崎町編刊 2012 24p 寄贈

国際交流のあゆみ [亀岡市]生涯学習部市民協働課編 亀岡市 2012 21p 寄贈

綾部市勢要覧 住んでよかった・・・ゆったりやすらぎの田園都市 綾部市企画 綾部市 2012 31p 寄贈

◆行政文書資料(新しく公開する資料)

京都府蚕業センター文書 92点

蚕業の普及指導・試験研究を行った蚕業センターと、その前身機関の資料。

平成24年度「古文書入門教室」へのお誘い

平成21年度から開催しております「古文書入門教室」では、初心者の方を対象とした比較的平易な文書の解説と古文書に関する基礎知識の説明を行います。今年度も、昨年度に引き続き京都府立大学を会場にして行います。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

ところで…。

そもそも古文書とはなんのでしょうか？ 筆で読みにくい字が書かれているものだけが古文書でしょうか？ どれくらい古ければ「古」文書になるのでしょうか？

ふだん何げなく本や新聞などの文章を読んでいます。そのためには、文字がわかること、ことばがわかること、文章を組み立てるルールがわかることなど、あまり意識はしていませんが、色々な知識が基礎になっています。

いまの日本語の書き方とは少しちがう、昔の文書を読むときのコツを当館の中世・近世の文書担当職員がお話します。

平成二十四年度「古文書入門教室」

- 日 時 平成24年12月10日（月）、12月11日（火）、12月12日（水）
3日間通しての連続講座です（1日目：中世、2・3日目：近世）
 - 時 間 各日とも午後2時～午後4時
 - 講 師 辻真澄、岡本隆明（ともに総合資料館職員）
 - 内 容 中世・近世の文書を読む
 - 会 場 京都府立大学 大学会館2階
 - 受講料 無料（当日レジュメを配付）
 - 定 員 120名
 - お申込み受付期間 平成24年11月5日（月）～11月16日（金）〔当日消印有効〕
 - お申込み方法
 - ・往復はがきに①住所、②氏名（ふりがな）、③電話番号をご記入の上、受付期間中に下記までお申込みください。申込み者多数の場合は、抽選により受講者を決定いたします。
 - ・なお、往復はがき以外でのお申込みは受け付けておりません。
 - ・お申込みの方全員に、はがきの返信で受講していただけるかどうかをお知らせいたします。
 - お申込み先・お問合せ先
〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4
京都府立総合資料館 歴史資料課「古文書入門教室」係
TEL. 075-723-4834
- *会場には一般向け駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
(特別ご事情のある方は、あらかじめご連絡ください)

※ なお本年度は、中級編の「歴史資料解説講座」も開催を予定しています。
こちらにつきましても、内容が決まり次第、当館ホームページ、チラシ・ポスター、府民だより、資料館だより、当館メルマガなどで順次ご案内いたします。

宇治茶

「本ずづくりプロジェクト」のご案内

「本ず」って何?と思われる方が多いと思います。

春先、お茶の新芽がでる頃に、よしずと稲わらで茶畑を覆い、一定期間直射日光を遮って育てる、500年以上続くとされるお茶の伝統的な栽培方法です。光を遮ることで、露地で栽培される煎茶にはない、鮮やかな緑色と独特の香りやまろやかな旨み、甘みのあるお茶になります。

この「本ず覆い下」での茶の栽培は、たいへんな労力と手間がかかりますが、宇治茶ブランドを支え、高める役割を果たしているとも言えます。

琵琶湖のヨシを刈り、よしずを作り、実際に茶畑に本ずとして設置する一連の過程を皆さんと一緒に体験するプロジェクトを企画いたします。

皆さんの、ご参加をお待ちしています。

こんなプロジェクトです。

- ヨシ刈りで、琵琶湖の環境浄化にも貢献できます。近江八幡白王地区地元産の食材を使った食事もご用意します。
- 伝統的なお茶の栽培方法を実体験でき、茶栽培農家からの話も聞けます。

【主催】 京都府立総合資料館
(国際京都学センター)

【共催】 宇治市

【協力】 宇治市茶業組合・NPO法人
和の学校

お茶のセミナー	日時：平成24年11月10日（土）・11日（日） 両日とも午後1時～ 場所：宇治橋商店街 丸五薬品多目的室 (重要文化的景観重要な構成要素：旧丸五百貨店<昭和初期>) 定員：40名（各日とも） 内容：お茶栽培農家や関係者からのお茶に関する講座です（抹茶の振る舞い有り）
ヨシ刈り体験	日時：平成25年1月13日（土）・14日（日） 場所：JR琵琶湖線近江八幡駅 午前9時30分集合（午後3時30分 同駅解散） 定員：両日とも40名 内容：琵琶湖の内湖である西の湖白王地区で、ヨシ刈りを体験していただきます。 (地元食材を使った昼食代 500円必要。)
よしずづくり体験	日時：平成25年2月中旬 場所・定員：未定 内容：刈り取ったヨシを、宇治市内の茶農家に持ち込み、よしずをつくります。 本ずの抹茶を使ったアイスクリームの販売あり（400円）
本ず覆い下設置体験	日時：平成25年3月中旬 定員：40名 場所：茶業研究所（宇治白川） 内容：よしずを使い、実際に茶畑で本ず覆い下として設置します。

◆申し込み方法など

- ① 申し込みは、下記あて、「お茶のセミナー」「ヨシ刈り体験」「よしずづくり体験」「本ず覆い下設置体験」の内、何を希望されるか（ひとつだけでも、複数又は全部のイベントの申し込みも可）、及び参加希望者の住所・氏名・連絡先、参加希望人数を明記の上、メール、ファックス、はがきでお願いします。

【E-mail】 shiryokan-shomu@pref.kyoto.lg.jp

【FAX】 075-791-9466

【はがき】 〒606-0823

京都市左京区下鴨半木町1-4 京都府立総合資料館庶務課

- ② 定員に達した場合は、原則、先着順としますが、大幅に定員を超えた場合は、抽選とします。
- ③ お寄せいただいた住所・氏名・連絡先は、上表のイベントがすべて終了した時点で、総合資料館で廃棄いたします。
- ④ このイベントが終了するまでの間に、総合資料館からダイレクトメールを送信する場合があります。ダイレクトメールを希望されない方は、申し込み時点でその旨明記してください。



友の会事務局から

平成24年度の友の会会員は、9月1日現在で、202人です。

男 性	132人
女 性	70人
合 計	202人

友の会では、随時入会申込みを受け付けています。

多数の方のご入会をお待ちしております。
(年会費2,000円：24年4月～25年3月)

*主な活動(予定)

- ・見学会(年1回秋頃、要参加費)
- ・現地講座(年1回春頃、要参加費)
- ・「総合資料館だより」の配付(年4回)
- ・資料館主催の展覧会の会員向け展示解説
- ・京都文化博物館、池大雅美術館の入館割引
- ・総合資料館府民講座の開催(資料館と共催)

問合せ先：友の会事務局

当館庶務課内 TEL 075-723-4831

◇ 現地講座を開催しました。

去る7月3日(火)、午前10時から京都文化博物館において、「平成24年度現地講座」を開催しました。

参加者数は、72人で、「NHK大河ドラマ50周年特別展 平清盛」を観覧しました。

当会顧問の伊藤京都府立総合資料館長のあいさつ、展示を担当された西山学芸員の「資料の解説やみどころなど」の講演の後、展覧会を観覧しました。

お一人お一人が熱心に観覧されている様子が印象的でした。

雨天にもかかわらず多数の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

古文書相談のご案内

- 古文書の内容や解説についての相談を郵送にて受け付けています。
- 地域に残る資料の解説・整理取り扱いなどに関するご要望がありましたら、職員が出張して行います。
いずれも詳細は、当館歴史資料課(TEL 075-723-4834)までお問い合わせください。

日誌(平成24年3月～8月)

- 2.25(土)～3.25(日)
収蔵品展
- 2.28(火)、3.22(木)
収蔵品展列品解説
- 7.3(火) 友の会現地講座
- 7.28(土)～8.26(日)
収蔵品展・日本図書館協会「資料保存展示パネル」の展示
- 8.2(木)、8.23(木)
収蔵品展列品解説
- 8.2(木) 寺子屋講座「おりがみを折って!学んで!伝統文化」

利用案内

休館日 祝日法に規定する休日、
毎月第2水曜日、資料整理期、
年末年始(12月28日～1月4日)

[10月～12月の休館日]

10月8日(祝)、10日(水)、
11月3日(祝)、14日(水)、23日(祝)、
12月12日(水)、24日(月・振)、
28日(金)～1月4日(金)

開館時間 午前9時～午後4時30分

交 通 京都市営地下鉄烏丸線・北山駅下車
市バス④、⑧・北山駅下車
京都バス④⑤、④⑥・前萩町下車

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/>

発行 京都府立総合資料館

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4

京都府立総合資料館友の会(振替 01030-2-11991) TEL. 075-723-4831 FAX. 075-791-9466

○本誌に対するご意見・ご感想などを当館庶務課までお寄せください。

再生紙を使用しています。